

# 広報 しばた



## キッズバイクにチャレンジ

キッズバイクは、ペダルとブレーキのない、足で地面を蹴って進む乗り物です。太陽の村では、キッズバイクパークの整備が進められ、子どもたちにキッズバイクの楽しさを知ってもらう体験会が定期的に行われています。キッズバイクコース、マウンテンバイクコースを備えた「太陽の村 冒険広場」来春完成予定。  
【写真：11月17日(日)太陽の村】

# 台風19号の経験を生かす



台風19号は、柴田町に記録的な大雨と甚大な被害をもたらしました。今後もこのような災害がいつ発生してもおかしくありません。今回の台風19号の経験を生かし、情報収集や早めの避難などを心がけ、日頃から防災に対する意識を高めていきましょう。

☎総務課 TEL55-2111

出典：国土地理院ホームページ

## これまでの経験を越えた水害への対応

台風19号は、勢力が衰えないまま日本に上陸し、広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。今回の雨の特徴は、30mmを超える雨が6時間も降り続くといった、これまで経験したことのない猛烈な豪雨によって、流域型洪水を発生させたことです。

柴田町では、阿武隈川や白石川の決壊は免れましたが、中小河川の急激な水位の上昇によって越水し、浸水域が拡大してしまいました。建物の床上浸水692件・床下浸水514件（11月19日現在）、公共施設などの被害額10億400万円（11月8日現在）となりました。

台風19号に備えて、10月9日から巡回による水門や常設ポンプ、スクリーンなどの点検、土のうステーションへ土のうの補充、災害協定を結んでいる関係機関との連絡調整を行っていましたが、大雨特別警報が発せられた状況での対応にはおのずと限界がありました。

10月11日に災害警戒本部を設置以降、陸上自衛隊船岡駐屯地、柴田消防署長、水防（消防）団長、大河原地方振興事務所職員、国土交通省リエゾン（災害対策現地情報連絡員）と連携して災害への対応に当たるとともに、発災後は、消防団、行政区長、自主防災組織、柴田町建設工事協議会、地元衛生業者、災害ボランティアセンターの皆さまなどにご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

台風19号の襲来に際しては、「自助」、「共助」、「公助」の観点から反省すべき点多々あったことから、今回の経験を生かして今後の災害への備えを強化してまいります。

改めて今回災害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。

柴田町長 滝口 茂

## 台風19号の対応状況 について検証します

1 東船迫地区の水害は、古河水門の開閉が適切ではなかったことや緊急時の排水ポンプが作動しなかったことによる人災ではないのか。

○台風19号は、1時間当たり30mmを超える雨が6時間も続くといった、これまでに経験したことのない猛烈な豪雨によって内水が一気に上昇し、広範囲に水害を発生させました。

東船迫地区には、排水ポンプ車4台を配置し、10月12日19時50分から排水作業を開始しました。しかし、内水の水位が急激に上昇したことにより、ポンプ操作員の人命が危険にさらされる状況となったため、同日22時に撤収しましたが、内1台のポンプ車が水没してしまいました。

2 下名生地区では、朝方になるにつれてだんだんと水位が上がってきたが、船岡五

間堀排水機場は稼働していたのか。また、三名生排水路に排水するポンプが漏電で作動しなかったのではないのか。

○13日の朝方、阿武隈川が危険水位に達したため、国の指示により船岡五間堀排水機場の水門を閉め、作業員全員が4時40分に避難しました。その後、阿武隈川の水位がこれ以上、上がらないことから、6時30分に排水機場の再稼働を許可されました。その間、船岡五間堀排水路から越水した雨水が三名生排水路に流れ、水位の上昇を加速させたものです。

三名生排水路の常設の排水ポンプは、当初、順調に稼働していたものの、水位の上昇により、配電盤が冠水し、停止したものです。県内外の自治体の排水ポンプも同じ状況で停止してしまいました。

3 避難所はいつ開設したのか。避難所で一夜を明か

したが、寒くて、食べ物なくて辛かった。

○避難所は、12日午後1時に開設しました。

台風19号については、事前に詳しく報道されており、また停電や断水、道路の冠水によって食料や水などが配給できないリスクも考え、今回は、避難する際に、食料、水、毛布の持参をお願いしたところでした。

4 槻木生涯学習センターなどの避難所の駐車場はすでに満車になっていた。近隣の事業所などと駐車場の利用について災害協定を結ぶことはできないか。

○災害時、臨時の駐車場として利用させてもらえるよう近隣の事業所などと相談します。なお、今回新たに、「柴田高校」と「表蔵王国際ゴルフクラブ」から、災害時に駐車場や避難所の提供の申し出がありました。

## 台風19号による災害を振り返る



柴田町消防団  
平間 泰夫 団長

10月11日に町の災害警戒本部の設置に伴い、消防団員に、いつでも出動できるように自宅待機の指示を出しました。翌日、台風の接近とともに雨が激しく降り続くようになり、午後1時30分に災害対策本部が設置されたことから、消防団員には、各担当地区の災害対応に当たるよう指示しました。

難をきたしました。台風が通過した14日にも排水作業や浸水がひどい地域で片付けの支援を行い、26日には前日の雨で決壊した、ため池の応急対応を行いました。

尋常でない雨が降る中、消防団員は一丸となって、危険を伴う夜通しの作業に懸命に取り組みました。しかし、人間の力ではどうしようもない状況であることを痛感させられたのが今回の災害でした。

皆さんには、日頃から自分の住んでいる場所の状況をよく理解し、ここは災害に強いところとか、ここは大丈夫と思う考えは捨てて、いざという時には早めに避難することを心がけてほしいと思います。そして、自主防災組織の行事に積極的に参加するなど、自助と共助の考えを深く理解し、災害に立ち向かうことが大切だと考えます。

## 避難情報と取るべき行動

災害に関する情報には、気象庁が発表する気象情報と、町が発令する避難情報があります。今年度から、気象情報や避難情報をもとに、住民の皆さんが取るべき行動を迅速に理解できるように、5段階の警戒レベルが整理されました。意味を正しく理解し、適切な避難行動をとってください。

また避難には、食料、飲料水、着替え、毛布、常用薬など最低限必要なものはご自身で準備してください。

<b>警戒レベル 5</b> 命を守る 最善の行動	<b>警戒レベル 4</b> 全員避難	<b>警戒レベル 3</b> 高齢者・障がい者 らは避難	<b>警戒レベル 2</b> 避難所や 経路を確認	<b>警戒レベル 1</b> 最新の気象情報 などに注意	<b>住民が 取るべき行動</b>
大雨特別警報 氾濫発生情報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報など	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報など	大雨注意報 洪水注意報など	早期注意情報	<b>気象情報</b> (気象庁が発表)
<b>△災害発生情報</b> <b>△避難指示(緊急)</b> <b>△避難準備・高齢者等避難開始</b> <b>△避難勧告</b> <b>●自主避難</b>					<b>避難情報</b> (▲町が発令)

### 自主避難

災害が発生するおそれがあるときに、事前に避難が必要と判断された方は避難を開始してください。町では自主避難者を受け入れる自主避難所を開設します。

### 避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間のかかる高齢者、障がい者、乳幼児などや、その支援者は避難を開始してください。土砂災害の危険性がある区域や河川沿いにお住まいの方も、この段階で避難することが望めます。それ以外の方も避難できるように準備をしてください。

### 避難勧告

対象地域の方は全員速やかに避難してください。避難所への移動はかえって命に危険を及ぼしかねないと判断される場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内より安全な部屋への移動などを行ってください。

### 避難指示(緊急)

避難指示(緊急)は状況に応じて、緊急的に、または重ねて避難を促す場合に発令されるものですので、避難勧告が発令され次第避難をしてください。

### 災害発生情報

災害がすでに発生している状況です。この状況では避難できなくなるため、避難勧告までに避難することが重要です。

## 災害情報・避難情報の入手方法

町や防災関係機関、各メディアなどから、災害情報、避難情報などが提供されています。いざという時に必要な情報を得られるように、入手方法を確認しておきましょう。

### ●柴田町メール配信サービス(登録制)

災害・防災情報のほか、町からの情報をスマートフォンや携帯電話で受け取ることができます。

二次元コード読み取り可能な機器をお使いの方はこちらから登録してください。

また、町ホームページからも登録できます。

HP <https://www.town.shibata.miyagi.jp/mail/index.html>



### ●テレビ(ニュース・データ放送)、ラジオ、町・気象庁ホームページ

### ●緊急速報(エリア)メール

気象庁が配信する緊急地震速報や気象などに関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信することができます。

## 災害リスクの確認

### ●防災マップ

平成22年度に作成しました。県によって平成27年に浸水想定区域、平成30年に土砂災害警戒区域の見直しが行われたことから、今年度、新たな防災マップを作成しています。完成後、全戸に配布しますので、ご自身の住んでいる地域の災害リスクや避難所を確認してください。

# 町に対して、多くのご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

## 愛知県東浦町からの応援

平成27年に災害時相互応援協定を締結した、愛知県東浦町の職員お二人に10月28日から11月10日までの2週間、税務課と福祉課で被災者支援などの業務にご協力いただきました。



愛知県東浦町役場 総務部税務課 兵道 洋斗さん

住民の皆さまと職員の方それぞれが柴田町の復旧のため尽力する姿を見て、少しでも手助けになればという思いで2週間の派遣業務に臨みました。

これから寒くなりますが、体調には気をつけていただき、1日でも早く復旧することを祈念申し上げます。



愛知県東浦町役場 建設部土木課 谷 和馬さん

今回、少しでも被災地

のために役に立ちたいという思いで派遣業務に参加させていただきました。

税務課で被害認定調査の準備等の業務を、福祉課で災害見舞金の受付の業務をさせていただきました。2週間という短い間でしたが、ありがとうございました。



役場庁舎で、災害見舞金の手続きに対応する兵道さんと谷さん

## ボランティアの皆さんの応援

10月15日に町社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設しました。濡れた畳の搬出や泥かきの作業に従事した方は、延べ360人（11月10日時点）のほりました。

●山形県村山市からご夫婦で来られた高橋文弘さん・恵美さんにお話を伺いました。

ボランティア友達の実家が柴田町で、大変な被害を受けていることを知り、毎週末ボランティアに来ています。

ボランティアを始めたきっかけは、苦しんでいる人がいるのに、自分達が楽しんでいていいのかなと感じたことからでした。

被災された方のお宅に伺うと、「申し訳ない」と言われますが、気にしないで任せてもらって構いません。感謝の言葉を頂くとやっとなんか良かったと感じます。作業が終わる頃には、元気になってもらえることが、とても嬉しいですね。

私たちもできる限りの協力をしていきますので、1日でも早く元の生活に戻っていただけることを願っています。



床下の泥かきの作業を行うボランティアの皆さん

## 関係機関からの応援

- 陸上自衛隊
- ・人命救助活動
- ・給水支援
- ・土砂崩れ対応
- ・災害ゴミの搬送
- 柴田町建設工事協議会
- ・道路清掃（泥回収など）
- 国土交通省北海道開発局
- ・道路清掃支援
- 国土交通省東北地方整備局
- ・リエゾン（災害対策現地情報連絡員）の派遣
- 日本赤十字社宮城県支部
- ・避難所での救援物資（毛布など）の提供



町道本船迫12号線で発生した崖崩れの復旧作業

## 柴田町の被害状況

公共施設等の被害額（11月8日現在）

公共土木施設 (道路・河川・公園・町営住宅など)	6億7,200万円
農林施設 (農道・林道・ため池など)	2億1,800万円
福祉施設	7,500万円
生涯学習施設	3,900万円
計	10億400万円

## 人的被害

死者	0人
行方不明者	0人
負傷者	0人
軽傷者	1人（渋滞による交通事故）

建物の被害（11月19日現在）※り災証明申請より

床上浸水	692件
床下浸水	514件
計	1,206件

# 柴田町公共施設 個別施設計画

町が現在所有する施設の今後10年間の具体的な取り組みを示す「柴田町公共施設個別施設計画」(以下「個別施設計画」)を策定します。

問 財政課 TEL 5512278

## なぜ個別計画を策定するのか

平成24年12月に中央自動車道笹子トンネルで天井板落下事故が発生しました。この事故を機に、国はインフラに関する維持管理などの方向性を示す「インフラ長寿命化基本計画」を策定しました。さらに、全ての自治体に対し、所有する全ての公共施設について、全体の状況を把握し、長期的な視点から、更新・統廃合・長寿命化など、総合的かつ計画的な管理を推進するための「公共施設等総合管理

計画」の策定を要請しました。この要請に基づき、本町では、平成29年3月に「柴田町公共施設等総合管理計画(以下「総合管理計画」という)」を策定しています。今回策定する個別施設計画は、総合管理計画の基本方針に基づく施設ごとの具体的な取り組みを示す行動計画となります。

## 町の人口と施設維持の状況

総合管理計画では、今後40年間の建築物の維持管理・更新などにかかる費用の総額は、過去5年の同経

費と比較し、毎年約5.7億円の不足が生じると見込んでいます。さらに、柴田町人口ビジョンの将来人口の目標値は、平成27年の38,344人から40年後には7,336人減少し31,008人となることが見込まれることから、公共施設の維持管理・更新費用の住民1人当たりの負担額は、年間28,948円から54,180円と約1.9倍になります。

## 個別施設計画の対象施設

この計画では、総合管理計画に示した156施設のうち、学校や町営住宅など、すでに施設の長寿命化計画を策定している施設や除却済みの施設を除いた122施設を対象としています(表1)。

## 施設の現状を把握する 老朽化調査の実施

各施設の現状を把握するため、本計画の対象122

表1 個別施設計画の対象施設

施設区分	施設名称等	施設数	
			うち老朽化調査対象
行政施設	柴田町役場	1	1
	槻木事務所	1	1
	集会施設	41	
町民文化系施設	消防・防災施設	32	
	コミュニティプラザ	2	2
スポーツ・レクリエーション施設	屋外運動場	2	1
	体育館	2	2
保健・福祉施設	保健センター	1	1
	地域福祉センター	1	1
	地域活動支援センター	2	2
	むつみ学園	1	1
子育て支援施設	保育所	3	3
	児童館	2	2
	船迫こどもセンター	1	1
社会教育系施設	しばたの郷土館	1	1
	生涯学習センター	3	3
	公民館	3	3
	農村環境改善センター	1	1
	太陽の村	1	1
産業系施設	仙南地域職業訓練センター	1	1
	柴田町シルバー人材センター事務所	1	
	船岡城址公園商工施設	4	1
	車両センター	1	1
その他	駅自転車駐車場	4	4
	町営墓地	2	
	その他の施設	8	
	合 計		122

施設のうち、今後大規模な修繕・建替を想定していない88施設を除いた34施設について老朽化調査を実施しました(表1)。老朽化調査では、部位ごとに経年数と目視によりそれぞれ評価を行い、劣化度を数値化しています。

### 今後の施設保全の基本的な考え方

#### ・優先順位

原則として、老朽化調査の対象施設で劣化状況が悪い施設を優先的に整備することとしますが、政策上の重点施設や防災の拠点施設など安全性を必要とする施設、各種交付金事業の採択を受けた施設は特に優先して整備に取り組みます。これ以外の施設は通常の修繕などで現状の機能を維持します。

#### ・目標使用年数の設定

総合管理計画に示す公共施設等の管理に関する基本的な考え方に基づき、建物

構造ごとの法定耐用年数を10年以上延伸した目標使用年数を設定しています(表2)。

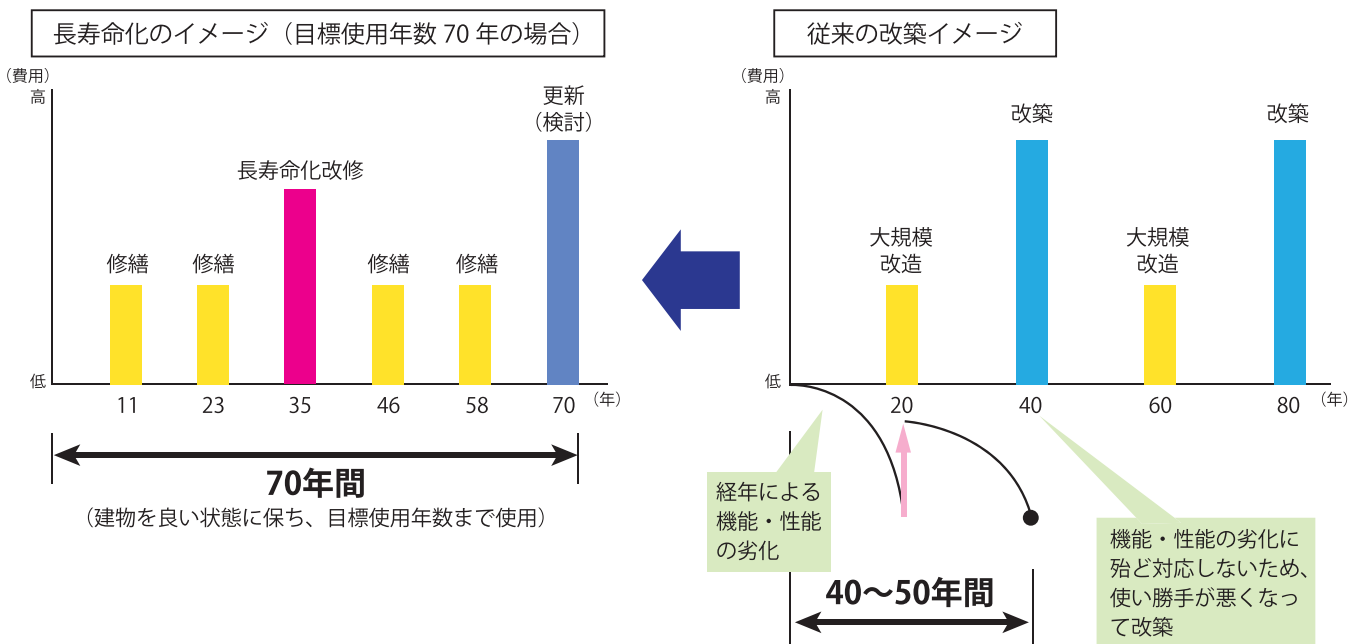
表2 構造別目標使用年数

構造	法定耐用年数	目標使用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC造)	50年	70年
鉄筋コンクリート造 (RC造)	50年	
鉄骨造 (S造)	38年	35年
木造 (W造)	24年	

#### ・長寿命化の取り組み

建物の構造ごとの法定耐用年数を上回る期間、施設を使用するためには、建物の健全性を維持する必要があります。おおむね10年を周期とした建物および設備の予防的な修繕を実施するとともに、目標使用年数を二分した時期を目安に施設の長寿命化のための改修に取り組みます(図1)。

図1 従来の改築イメージと長寿命化のイメージ



参考 柴田町公共施設等総合管理計画 公共施設等の管理に関する基本的な考え方より

### 計画的な長寿命化の推進

施設の老朽化の状況や利用実態・需要の見通し等を踏まえつつ、今後も維持管理していく施設については、財政支出の縮減と平準化を図るために、施設の長寿命化を推進します。具体的には、長期的な修繕計画の策定や定期的な点検・修繕等の強化などにより、施設の長寿命化を計画的に推進し、建物の耐用年数を10年延長させて70年<sup>※1</sup>にすることで、更新等に係る経費について年間約2.3億円の縮減を図ります。また、上水道施設については、水道事業アセットマネジメントに基づく新たな水道事業経営戦略により、計画的かつ効果的な施設の更新を行うことで、年間約1.9億円の縮減を図ります。

※1 建物の耐用年数については、日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考としました。これによる耐用年数の代表値は60年、上限値は80年とされているため、中間の70年を目標値としました。

## 財政負担の軽減および費用平準化の取り組み

施設の長寿命化に向けた改修や更新時期には、その後の人口減少を見据え、整備面積の縮小や他の施設との機能集約・複合化を検討し、適切な規模で効率的・効果的な施設整備に取り組み、財政負担の軽減を図ります。

また、町の将来負担と財政状況を予測しつつ、施設の整備時期が一定期間に集中しないよう計画的に取り組み、費用の平準化を図ります。

## 今後の主な施設の取り組み方針

計画期間である今後10年間は、施設の老朽化調査の結果を基に、耐震性が確保されていない施設、または施設の一部に著しい劣化が確認された施設や長寿命化改修時期を迎える施設について整備し、このほか、機能を移転した施設や廃止した施設は随時除却することとします(表3)。

表3 今後10年間の主な施設の具体的な取り組み方針

区分	施設名	構造	方針
行政施設	役場庁舎(築45年)	鉄筋コンクリート造	【改修】令和2年度(予定)に耐震化および長寿命化改修
	槻木事務所(築43年)	鉄筋コンクリート造	【移転】戸籍事務は本庁で一本化し、その他機能は他施設へ集約
スポーツ・レクリエーション施設	槻木体育館(築37年)	鉄骨造	【除却】総合体育館完成後廃止する方向で検討
	船岡体育館(築37年)	鉄筋コンクリート造	【改修】令和3年度(予定)に屋根改修。総合体育館完成後は他用途に転用
	総合運動場(築32年)	鉄筋コンクリート造	【改修】令和10～11年度(予定)で長寿命化改修
保健・福祉施設	保健センター(築34年)	鉄筋コンクリート造	【改修】庁舎改修と併せて令和3年度まで(予定)に長寿命化改修
	地域福祉センター(築18年)	鉄筋コンクリート造	【改修】令和2年度(予定)に空調設備を中心とした改修
	地域活動支援センターもみのき(築27年)	木造	【改築】令和9～11年度(予定)に改築
子育て支援施設	西住児童館(築48年)	木造	【移転】令和4年度以降に西住公民館に移転・複合化
	槻木保育所(築39年)	鉄筋コンクリート造	【改修】令和3～4年度(予定)で長寿命化改修
	西船迫保育所(築35年)	鉄骨造	【改修】令和5～6年度(予定)で長寿命化改修
社会教育施設	船岡公民館(築48年)	鉄筋コンクリート造	【移転】新しい図書館開設時に移転・複合化
	しばたの郷土館(築28年)	鉄骨鉄筋コンクリート造	【改修】令和11～12年度(予定)で長寿命化改修
	船迫生涯学習センター(築34年)	鉄筋コンクリート造	【改修】令和6～7年度(予定)で長寿命化改修
	農村環境改善センター(築35年)	鉄筋コンクリート造	【改修】令和4～5年度(予定)で長寿命化改修
産業系施設	太陽の村(築42年)	鉄筋コンクリート造など	【改修】休館宿泊棟を改修し、キッズバイクパークおよび木育関連施設に用途変更
その他の施設	車両センター(築30年)	鉄骨造	【改修】令和10～11年度(予定)で長寿命化改修
	船岡駅南自転車駐車場(築30年)	鉄骨造	【改修】令和8～9年度(予定)で長寿命化改修
	旧勤労青少年ホーム(築45年)	鉄筋コンクリート造	【除却】令和5年度以降に除却
	旧羽山児童館(築53年)	木造	【除却】令和3年度以降に除却



## 本計画における 中長期的な経費の見込み

本計画の対象施設である122施設を一般的な更新スケジュールで維持した場合の年平均費用は、7.6億円の見込みとなります(図2)。

これに対し、一定期間で

の長寿命化に向けた改修や目標使用年数まで更新時期を延伸するなどし、さらに大規模な修繕・建替を想定してない施設については、過去の維持費用の平均年

6,000万円の範囲内で修繕を実施するとした場合の年平均費用は、4億円となりますが(図3)、本計画

の取り組みによって、年平均3.6億円の財政負担の軽減が見込まれます。さらに、交付金事業などの活用によりイニシャルコスト

(初期費用)と、受益者負担の増額などによりランニングコスト(維持管理費用)の軽減を目指します。

## 計画の推進に向けて

継続的に施設の利用状況や躯体健全性の把握に努め、創意工夫により各施設の余裕時間、余裕スペースの有効活用を目指します。

また、確実に進行する超高齢・人口減少社会では、各施設を現状のまま維持、保有することは極めて困難で、施設の再整備や統廃合など総量調整は避けられない状況にあります。

施設総量の調整を検討する際は、施設そのものの必要性などを改めて調査したうえで、利用者に対しては代替施設やスペース確保の提案など行いながら、時間をかけて住民との合意形成を図ってまいります。

本計画は、現時点での町の財政状況や施設の現状を考慮し、施設の方向性を示したものです。最善の施設整備を目指して随時見直しを行うこととし、町民の皆さんが安心、安全に利用

でき、有益性の高い施設整備を目指して行くものです。

パブリックコメントを  
受付中です(12月17日  
火)まで

【閲覧方法】町ホームページのほか、次の場所で閲覧できます。

【閲覧場所】財政課、槻木事務所、各生涯学習センター、船岡公民館、西住公民館、農村環境改善センター、まちづくり推進センター

【提出方法】専用の用紙に記入の上、持参または郵送、FAX、Eメールで提出してください。なお、電話による受け付けは行っていません。

### 問財政課

Tel 5512278  
Fax 5514172  
Eメール  
financial@town.shibata.  
miyagi.jp  
〒989-1692  
柴田町船岡中央2丁目3  
番45号

図2 一般的な更新スケジュールの場合の経費の見込み

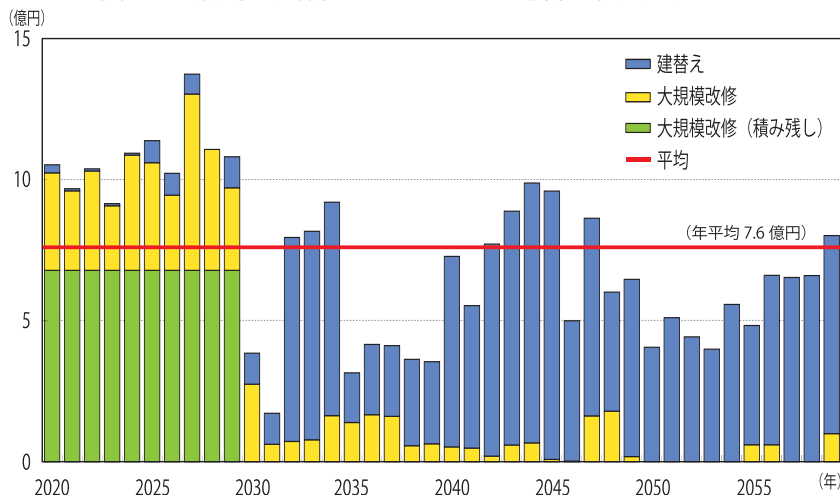
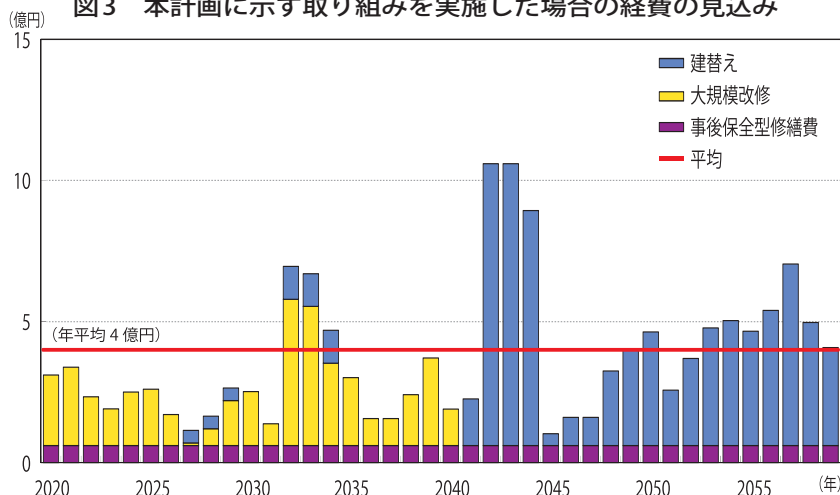


図3 本計画に示す取り組みを実施した場合の経費の見込み





柴田町長 滝口 茂

10月12日から13日にかけて通過した、台風19号の後遺症が残ったまま12月を迎えました。

今回の水害を振り返ってみますと、台風19号の特徴

は、これまでに経験したことのない、1時間間の雨量が30mm以上の大雨を福島県の阿武隈川沿いの広範囲に降らせたことで、タイムラグをともなつて宮城県に流れ込んで来たことです。そのため、柴田町に降っていた雨が小惑状態になったにもかかわらず、朝5時頃に角田市笠松で氾濫危険水位17mを48cm超える状況になってしまいました。

阿武隈川が満水状態となると、白石川や船岡五間堀排水路の水がはけず、さらに、白石川に注ぐ三名生排水路や大河原町と村田町の境を流れる荒川に注ぐ水路が越水を起こし、付近の住宅団地に床上床下の浸水被害をもたらしました。この付近で長年暮らしている方に伺いますと、大河原町フォルテ付近の冠水は、今回が初めてだったそうです。

台風19号については、早い段階からその脅威が報道されていたこともあって、町が設置した避難所には1,373人の方々が避難されました。おかげさまで人的被害は交通事故の1件のみでした。

今回の経験から学んだことは、一つに、

## 流域型洪水への対応

阿武隈川の増水による白石川をはじめとする、中小河川でのバックウォーターの動きや想定外の越水に対する監視体制の強化がいかにか大切かということです。

二つには、大雨に対する住民の主体性をさらに育てていく必要があると感じたことです。災害発生当初、役場は人命救助や安全な場所への住民の避難誘導、道路の陥没や崖崩れ、堤防の決壊に対応するため、多くの人手を集中しなければなりません。その分、町民一人一人の避難所までの移動手段の確保や食糧確保までは手が回らないのが実情です。

町民の皆さまには、日頃から自宅周辺の危険な箇所のチェックや三日分の食糧の備蓄、ご近所付き合いを通じて、いざという時に、助けてくれる人を決めておくといった、常に「自分の命は自分で守る」という主体的な行動力を身につけていただきたいと思います。

私としては、今回のような流域型の洪水に対しては、これまでの経験は通用しませんので、改めて、猛烈な雨に対する抜本的なハード面での改善や、地域防災力の向上、自主避難のあり方など、ソフト面からの防災対策の強化を図っていく必要があると考えています。

来る令和2年においては、一步も二歩も改善できるよう努力してまいります。

## 芸術空間

Shibata Art Gallery  
No.6

# 『新雪の里』(水彩画)

保科 毅



白一色になる雪の風景も好きでよく描いています。七ヶ宿町、川崎町、白石市、蔵王町、山形県など、雪の風景を描くのは町外ばかりでしたが、この場所は初めて町内の雪の風景を描いた忘れられない作品です。10年前の作品ですが、現在もほとんど変わらない成田地区の風景です。(文 保科毅)



保科 毅(ほしな たけし) 1942年中国 旧満州生まれ。船岡中央在住。

●主に仙台で、グラフィックデザイナー、イラストレーターを経て61歳から本格的に水彩画の世界に。絵は独学。絵画教室を地元船岡、蔵王町で主宰する傍ら、船岡、蔵王町、丸森町、七ヶ宿町、仙台市などで個展を開催。



# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ62

問 健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第62回のテーマは、「オーラルフレイル」です。

口に関する些細な衰え、変化（歯数の減少、入れ歯の調子が悪いなど）を放置することで、食べこぼしや軽いむせ、硬いものが噛みにくい、滑舌の悪化、口の中が乾くなどの症状が現れます。噛む力が衰えて硬いものが食べにくくなると、やわらかいものばかり食べるようになり、噛むために必要な筋力がさらに低下するといった悪循環に陥りやすくなります。結果的に口腔機能の衰えは、食欲の低下や外出機会の減少、さらには筋力量が減り、全身の運動機能の低下、低栄養へと進み、要介護状態や心の不調へとつながります。

こうした一連の現象および過程を「オーラルフレイル」といいます。「オーラルフレイル」の始まりは、ほんの些細な症状であり、見逃しやすく、気が付きにくい特徴があるため、注意が必要です。

## ○オーラルフレイルチェック

当てはまるものがある方は、早めに治療を受けるなどの対応をとりましょう。

- 歯の本数が少ない
- 半年前と比べて、硬いものが食べにくくなった
- お茶や汁物でむせることがある
- 口の乾きが気になる
- 滑舌が悪くなった
- やわらかいものばかり食べる

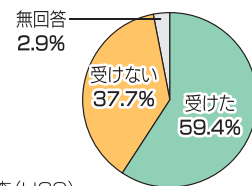
## ○オーラルフレイルの予防のために

- ・ 歯や入れ歯などを清潔にする ⇒ 毎日の歯みがき、歯科医院で口腔ケアを行う
- ・ よく噛める歯を維持する ⇒ むし歯や歯周病の治療、入れ歯の修理をする
- ・ 口の筋肉をよく動かす ⇒ よく噛む、口や舌の体操、おしゃべりをする
- ・ 定期的に歯科健診を受ける ⇒ かかりつけ歯科医をつくる

## ○みなさんの口は健康ですか

1年以内に歯科健診を受けましたか？  
かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診や口腔ケアを受けて、いつまでもおいしく食べられる口を保ちましょう。

1年以内に  
歯科健診を  
受けました  
か？



出典：町民健康調査(H29)

病気や障がいなどにより歯科医院へ通院できない方は…

- ・ 以前通院していたかかりつけ歯科医に往診について相談
- ・ みやぎ訪問歯科・救急ステーションに相談（宮城県歯科医師会開設）  
歯科医が訪問して治療、口腔ケアを行います。治療は基本的に医療保険、介護保険を適用。

問 みやぎ県南中核病院 救命救急センター内 TEL0224-53-9188  
受付時間 9:00～17:00（祝祭日を除く）

広 告

広 告

# まちかど NEWS



期間中は約5,000人もの来場者が訪れました。



約2,400鉢の菊が鮮やかに咲き誇りました。

## みやぎ大菊花展柴田大会

NEWS

10月20日(日)から11月13日(水)まで、船岡城址公園を会場にみやぎ大菊花展柴田大会が開催されました。

県内約140人の愛好者が丹精を込めて育てた観賞菊と、菊師が仕立てた菊人形が並び、訪れた方は色とりどりの菊の花を楽しんでいました。

ご夫婦で来ていた四竈健康さん(白石市)は、「同級生が出展していたので見に来ました。どの菊も素晴らしいです。『樫ノ木は残った』の菊人形は懐かしく感じました」と話していました。

## 第4区スポーツレクリエーション大会

NEWS

10月26日(土)、第4区スポーツレクリエーション大会が行われました。雨の影響で、集会所での開催でしたが、パン食い競争や玉入れなどで大いに盛り上がり、わたあめやいも煮をみんなでおいしく食べ、最後は大抽選会と、子どもも大人も楽しい時間を過ごしました。中村夢紘くん(小学4年)は、「いろいろな種目に参加して景品を19個ももらいました。とっても楽しかったです」と笑顔で話していました。



新聞紙で作ったボールプールは大人気でした。

## 東船岡秋祭り

NEWS

11月2日(土)、東船岡小学校で小学校と東船岡地区ふるさとづくり推進協議会主催の秋祭りが行われました。

地域の皆さんによる野菜やおもちの販売、3、6年生がそれぞれ企画したお化け屋敷やゲームなどの出店がいっぱいで、地区が一体となったお祭りとなりました。

協議会の柳澤正博会長は、「このお祭りの良さは、小学校を中心に5つの行政区が協力して行っているところです。今後も継続し、さらに活気のあるお祭りになればと思います」と話していました。



ハロウィーンの飾り付けや仮装がさらに会場を盛り上げました。

# 地域おこし協力隊 新たな出発

地域おこし協力隊のお二人が、任期満了に伴い令和元年11月をもって退任されました。3年間柴田町のために活躍いただきありがとうございました。



あきひさ 鑑久さん  
きたうら 北浦

主に「フットパスの推進」に取り組んでいただきました。

フットパスを通じて柴田町の魅力の掘り起こしを行ってきました北浦です。

3年前に柴田町に着任して驚いたのが、町を歩いて

いる人が多いことでした。朝夕に散歩をする人や通勤通学の人々。ハイキングやノルディックウォーキングをするグループも多々見かけます。本当に寂れた町は歩く人などいませんから、実は柴田町は既に地域おこしに成功していた…!?

皆さんに共感してもらえような仕事を心がけてきました。(柴田町を歩く魅力については、広報のフットパス特集記事をご覧ください)

私は任期終了後、柴田町を離れることとなりましたが、そのうち「フットパス先進地柴田町」へお客さんを連れてこようとたくらんでいますので、私がうろつき歩いている姿を見かけた際はぜひ「フットパスですか?」と声をかけてください。お世話になりました。



さとう 祥多さん  
佐藤

主に「地域活動の提案と実践、情報発信」に取り組んでいただきました。

正直まだ地域おこしなんて全然できていないし、自分の実績も見当たらず、あれよあれよと3年間が過ぎていきました。自分の住んだ入間田地区の皆さまや町内各地区の皆さま、まちづくり政策課をはじめ、役場の皆さま、町外に住む関係各所の皆さまには本当にお世話になりました。生意気な私にとっても親切に接していただき3年間続けることができました。私が柴田町に3年間残り続けられた理由の大半は、優しく接していただいた皆さまがいたからだと思います。

3年前に採用され、右も左も分からない状態で「まちづくりが仕事です」なんて言われたことが昨日のように思い出されます。この町に知っている人がいない状態から始まりましたが、おかげさまで一部の人は認知してもらえるほどになりました。これからは柴田町民として、特定非営利活動法人「余白」の代表として、仙南地域に住んでいる皆さまが、幸せで充実した日々を暮らすために一緒に「まちづくり」をしていきます。地域で困ったことや、さまざまな悩みがあれば、いつでも「柴田町まちづくり推進センター」ゆるがら」にお越しください。一人では円陣は組めないで、ぜひ今後もお力を貸してください。

告 告

告 告



こうほう 文芸

短歌

紅葉の山並み下りて着いた湯宿  
 夜は宴の歌声弾む  
 願うのは人も財をも奪い去る  
 台風国の強き国策  
 秋風にゆらぐコスモス真つ盛り  
 いも煮味わい秋を満喫  
 目覚朝ラジオ体操健常の  
 喜び新た「一日」始まる  
 船岡 伊藤タイ子

責任は私にあると言う総理  
 言葉だけでは国民は認めぬ  
 孫も知る19号の物凄さ  
 公園へ行く道水没し  
 山路行きどんぐりプチッと踏んでしまい  
 心に痛みその日残りて  
 西船迫 三澤 精一  
 本船迫 森田 眞六  
 船岡 沢田 順子

川柳

避難所で警報音を皆で聞く  
 金なる木十年ぶりに咲きますよ  
 近頃の台風災害ハンパない  
 西船迫 安ヶ平良三  
 船岡 阿部美代子  
 西船迫 H・G

阿武急が走らないので時間知らず  
 スポーツ戦勝つと傾くにわかファン  
 船岡 小林 夢子  
 船岡 村上 紫寿

俳句

万年青の実赤く色づく冬近し  
 少年の口笛高し柿日和  
 台風迫る避難所の夜レベル4  
 コンパクト開けて映りし罌雲  
 冬陽射しつるし柿食う古郷の味  
 秋晴にいさんで響コンバイン  
 少年の眉目秀麗秋澄めり  
 秋桜杖と一緒にスニーカー  
 船岡 平間 三郎  
 船岡 可沼 妙子  
 西船迫 安ヶ平奈津枝  
 西船迫 佐藤 厚子  
 船岡 安藤 節子  
 西船迫 深見 半翁  
 船岡 中野西範子  
 西船迫 石垣テル子

蔵町の息づかひ聞く石路の花  
 歩を合はせ喜寿と傘寿の菊花展  
 右手だけ爪塗り直す冬隣  
 浸水に負けてだめよと鵜猛る  
 励ましが励まさるるや石路の花  
 柔らかき木漏れ日通す剪定後  
 その青は泣けぬかなしみ冬董  
 心眼で見よ皇后の菊日和  
 制野 千秋  
 遊佐 徹  
 山家美智子  
 三塚 直樹  
 及川美沙子  
 若月ノリ子  
 大久保和子  
 浪山 克彦

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで12月12日(木)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



榎木中学校は、地域の皆さま、保護者の皆さまをはじめ、多くの方々に支えられて充実した教育活動を推進できています。今回はその中の4つの活動を紹介します。

## 1 地域に貢献し隊

本校では今年「地域に貢献し隊」を結成しました。隊の結成に当たり、4月の地区生徒会で、行政区長さんから生徒へ地区の活動や地区に貢献できることなどのお話をしてもらい、その話を受けて生徒たちが地域に貢献できることを考え、議論し活動内容を決定しました。これまで、公園の除草作業、地区のお祭り、運動会、敬老会の手伝い、地区防災訓練の参加、廃品回収などの活動を行いました。また、榎木駅前で開催されるメタセコイアの奇跡の点灯式では、2年生が田沢湖わらび座で習得してきたソーラン節を地域の方々に披露します。



「幼い頃からお世話になっている地域の方々に恩返しのお気持ちで取り組んでいます」という生徒の声に代表されるように、「地域に貢献し隊」は自分たちの住む柴田町榎木に誇りと愛着を育てていくための大切な活動となっています。

## 2 小学校との交流活動

学区内の榎木小学校および柴田小学校とさまざまな交流を行っています。学区内に明るい挨拶が飛び交うことを願い、生徒会役員が榎木小学校で小学生と一緒に挨拶運動を行っています。また、中学3年生が合唱コンクールで発表した曲を小学生に披露しています。これは、中学生の頑張っている姿や素晴らしい歌声を小学生に披露することで、中学校生活への憧れや希望を持ってもらいたいと願い実施しています。

今後も小中連携の取り組みをさらに充実させながら生徒たちを育てていきたいと考えています。

## 3 オリンピック・パラリンピックムーブメント展開事業

今年度、本校は県教育委員会より「オリンピック・パラリンピック教育推進校」に指定されています。これまで、ベラールシ新体操ナショナルチームに全校生徒で折った千羽鶴と、町内3中学校で協力し作成した巨大点描画をプレゼントしました。10月には、ブラインドサッカーの日本代表候補の方々をお招きして、パラリンピックへの理解を深め、12月には重量挙げのオリンピック日本代表の方をお招きして「オリンピックと夢」についてお話をいただいたり、競技を体験したりします。



この活動をとおして、生徒たちが高い志を持ち、自分の目標実現に向けて真摯に取り組んでいこうとする姿勢が養われることを期待しています。

## 4 日常生活の充実

本校の朝は、生徒会や部活動による挨拶運動から始まります。校内ですれ違くと自然に挨拶できる生徒が多いです。また、学習習慣形成のために毎週ウィーク課題を全学年で実施しています。生徒会や委員会活動、ボランティア活動も活発です。校庭や花壇の植替えや除草作業には、100人を超える生徒が集まり昼休みに熱心に取り組めます。



このような日常生活の充実が今年度の部活動や各種文化活動の素晴らしい成果につながっています。これからも日常生活の一層の充実を図っていきます。

〔榎木中学校長 高橋智男〕

広 告

広 告

## 仕事に人に、 丁寧な職人を目指します

有限会社大槻板金工業

田村 佳英さん（38歳）

今回は、建物の屋根や外壁、雨樋の板金  
工事を手がける有限会社大槻板金工業の  
田村佳英さんを紹介いたします。



建築板金工と呼ばれるこの職業は、金属の板を加工し、建物の屋根、外壁、水回りなどの施工を行うもので、私たちの生活に欠かせない職業です。入社10年目の田村さんは、大槻板金工業では一番若い社員ですが、板金工歴は18年になります。

「現場は大規模な施設から一般住宅までさまざまです。自社の作業場で金属板を加工して、現場に運び施工を行います。住宅で例えると、屋根の頂点に取り付けて、雨の進入を防ぐ棟板金と呼ばれる部分があります。事前に採寸してその屋根に合うように加工しますが、金属の板なので少しでも折り曲げる位置を間違えると、その材料は使い物になりません。加工には神経を使いますね」と話します。

職人として長いキャリアを積んでいる田村さんですが、スタートはたまたま見つけた求人からだそうで、「板金工を目指して仕事を始めたわけではあり



雨樋を取り付ける田村さん。

ませんでした。続けていくうちに自分が手掛けた仕事は建物という形で残る姿を見ると、とても達成感を感じるようになりました。また、屋根の修理で何うと、その家に住んでいる方とやりとりをしながら仕事を進めるため、修理が完了し、直接お客さまの喜んでいる姿を見ることもできます。今ではこの仕事をやっていて良かったと感じます」と感慨深げに話してくれました。

板金工として一級建築板金技能士などの国家資格を取得し、長く会社を支えていきたいと話す田村さんに目標について何うと、「とにかく初心を忘れず、どんな些細なことでも確認を怠らせずに、仕事をしていきたいです。作業に対しても、人に対しても丁寧でありたいと思っています」と教えてくれました。

お話を伺っても、板金工について丁寧に説明をしていただきました。その人柄で、これからはがんばってください。



有限会社大槻板金工業  
柴田町大字船岡字上大原31-1  
TEL54-1654

昭和23年創業。一般住宅から商業施設、公共施設の屋根や外壁、雨樋の板金工を手掛ける。従業員5人。

人口と世帯数  
(令和元年11月1日現在)



37,650人  
(前月比37人減)



18,780人  
(前月比32人減)



18,870人  
(前月比5人減)



15,845世帯  
(前月比2世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。